

しがの里山だより

「夏原グラント」助成金団体に選ばれる

4月13日(土)、草津市において「夏原グラント」助成金贈呈式が開催されました。これは平和堂財団、環境保全活動事業で、昨年から始められたものです。2013年度は厳しい1次・2次選考会があり、1次審査(書類選考)を通過した28団体のうち、滋賀県から15団体、京都府から7団体が選ばれました。



しがの会の事業計画は、**和邇川流域の環境再生**—ホテル・シジミ・稚鮎の群れの復活を目指して—です。

湖西道路が無料化されて、ひっきりなしに、残土・汚染土壌・産業廃棄物が運び込まれてくるようになる前の状態(15年位前の状態)に、自然環境、社会環境を戻そうと言うものです。緑豊かな自然やお互いが助け合う美しい生活環境などを実現させ、子孫にバトンタッチをしたいと思っています。

大津市からの補助金が減少される中、今年は夏原グラントの受賞で、飛躍が可能になりました。多くの方々の参加をお待ちしています。



〈贈呈式〉
4月13日カサツエストピアホテルにて

具体的活動としては、

- ①聞き取り調査(どの場所にどのくらい生息していたか等の確認)、
- ②現状伝達と、地域のコミュニティ活動(広報やホームページ等による情報伝達)
- ③専門家による学習活動(シジミ・稚鮎の群れの再生学習活動)などを予定しています。

今年もやります!! 〈大津市パワーアップ応援事業〉

3月9日(土曜日)、こちらも理事長のプレゼンの結果、3回目の採択事業となりました。

事業内容は、昨年度の事業を継続し、公園の清掃・花壇作り・水生生物観察会・ホテルの調査活動などを計画しています。

コスモスの杉本さんが独立して「北浜はなの道」という会を作り応募しました。しがの会の理事長と一緒にプレゼンに臨み、厳しい審査の末条件付きで採択されました。コスモスの事業は「北浜はなの道」が主体として行い、しがの会は今年も協力して行きます。



【日時】

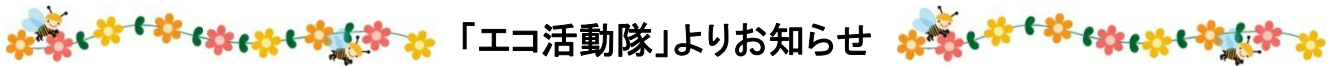
2013年5月26日(日)
13:15～ 平成25年度総会
15:00～ 総会記念講演

【会場】

和邇公民館(2F)

総会記念講演

「北欧(スウェーデン)の環境活動(仮題)」
講演者: 竹内 憲司先生(神戸大学准教授)
2012年4月～2013年3月 ヨーテボリ大学
経済学部 客員教授



「エコ活動隊」よりお知らせ

「エコ活動隊」とは「しがの会」の中で清掃、花壇、ほたるのプロジェクトを担当する仲間です。よろしくお願ひします。

メール sganokai_hotaru@yahoo.co.jp
ブログ <http://sganokai.shiga-saku.net/>

真野のほたるSOS---お引越し実施!!

昨年夏より、大津市の道路建設工事によって壊される、ホタルを助けようと、道路建設課の方やホタルの学校の荒井さんに協力してもらい、ホタルを引越しさせようと、現地調査を繰り返し行いました。

ホタルの幼虫の引越し先の候補地をみんなで探し、聞き取りをして、最後はホタルの気持ちになってやっと決まりました。

そして、3月、工事直前に蛍のお引越しを実施しました。



お引越し実施1回目：3月11日（月）午後2時から

参加者・・・10名（道路建設課の方も様子を見に来てくれました。）

ホタルがいそうなところの土をトレイにあげて、その中からホタルの幼虫を探しました。少し寒い日でしたが、12匹見つけました。

見つけたホタルは、餌となるカワニナと一緒に放流しました。



お引越し実施2回目：3月17日（日）午後2時から

参加者・・・4名（久原さん親子としがの会理事2人）

気温が上がって、幼虫が上陸をいまかいまかと待っていたため見つけやすかったのか、41匹見つけました。11日と17日の引越しがうまくいったのはみんなの心の結集だったと思います。

発行者
しがの里山や川を美しくする会
理事長：山田 利春
<http://www7b.biglobe.ne.jp/toshisyun/>
電話：594-1049

声

ホタルの引越しに娘と参加しました。真野の田んぼの中をながれる小さな用水路のある場所に、毎年数十匹のホタルが出る場所があります。街灯もなく、車も通らない場所で、用水路をおおように木が繁り、ホタルには居心地がいい場所のようです。毎年、家族でホタルの季節を楽しみにしていましたが、なんとその場所に道路が通ることとなり、ホタルが住んでいた用水路は埋め立てられ、つぶされることになりました。そこで、ホタルを守る活動もしている会に連絡して、ホタルの学校の荒井さんの協力も得て、幼虫を下流のほうに移すことになりました。

第1回の3月11日は、まだ寒く、幼虫も川底の土中にもぐっているのか、この日は、12匹しか見つけられませんでした。

第2回を3月17日に行い、この日は1時間で30匹程度とりました。暖かくなり、幼虫も土中から出て来たのか、目視で幼虫を探ることができました。幼虫は用水路のあちらこちらに点在しているのではなく、毎年、ホタルが飛んでいる場所の真下に集まっていた。わずか1メートル四方の中に30匹程度いたのです。その場所にしゃがみこんで目をこらすと、川底の土の表面近くに幼虫がいるのが分かります。途中からは、葉の下や石の下にいることが多いことに気付き、捕獲数が伸びました。娘も大喜びで、充実した1日でした。

3月24日、1匹でも多く避難させてやりたいと思い、娘と二人で、蛍の引越しの続きをしました。同じ場所で、1時間で約40匹捕獲し、前回と同じ場所に放しました。

その後、幼虫はどうなっただろうと心配でしたが、4月6日、ホタルを放した場所を見に行くと、20匹程度が上陸中でした。私は知りませんでしたが、上陸中の幼虫は、お尻の近くが光っていました。果たして、今年卵を産んだとして、この場所で育つことができるのでしょうか、是非そうあって欲しいです。

必要性に疑問がある道路の建設によって、毎年楽しみにしていたホタルの場所がなくなるのは、本当に悲しい出来事です。昨日、その場所を通ったら、木々は伐採され、土地整備工事が始まっていました。しがの自然が残って欲しいと切に祈っています。



大津市緑町 久原